

# サイトライセンス 管理者ガイド

次の説明は、IBM® SPSS® Modeler Text Analytics 15 にサイト ライセンスを使用しているサイトの管理者向けです。このライセンスでは、購入したライセンスの数を上限とする複数のコンピュータに IBM SPSS Modeler Text Analytics をインストールできます。

## 始める前に

認証コードが必要です。認証コードは、別紙で提供されるか、または <http://www.ibm.com/software/getspss> から入手できます。この認証コードを使用して、IBM® SPSS® Modeler Text Analytics のライセンスを取得できます。認証コードが見つからない場合は、営業担当者に連絡してください。

## ローカル デスクトップ コンピュータへの製品のインストール

- ▶ **インストール メディアを利用可能にする。** 製品用の eImage をダウンロードし、共有ネットワーク ドライブにファイルを抽出します。物理的インストール メディアがある場合、DVD のコピーを必要な部数作成するか、製品 CD-ROM を共有ネットワーク ドライブに置きます。
- ▶ **インストール手順書をコピーし、ライセンスに関する情報を準備する。** 製品のインストール手順書のコピーを必要な部数作成します。インストール手順書はダウンロード サイトから入手できますが、物理的なインストール メディアを受け取っている場合は、DVD の Documentation ディレクトリから使用できます。使用するライセンスのタイプに対応した手順書を入手してください。手順書の完全版もしくは短縮版を配布することができます。インストール終了後、エンド ユーザーはサイトの認証コード。指示書をコピーする前に、指示書の初めにある空欄にこの情報を記入しておきます。

注: プロキシ サーバーによって認証が拒否される場合は、`licenseactivator` を使用してください。このコマンドを使用すると、プロキシ ID とパスワードを入力できます。詳細は、[p. 1 licenseactivator の使用](#) を参照してください。

- ▶ **インストールに必要なものをエンド ユーザーに配布する。** インストール DVD(またはネットワーク上でのインストール ディスクの場所)、インストール手順書、およびライセンス情報を、各コンピュータに手動でインストールできるエンド ユーザーに必要なに応じて配布します。

## licenseactivator の使用

`licenseactivator` を使用すると、ライセンス認証ウィザードを使わなくても、エンド ユーザーのコンピュータを認証することができます。このコマンドラインツールは IBM® SPSS® Modeler Text Analytics をインストールしたディレクトリにあります。

licenseactivatorを使用すると、製品を認可し、そのディレクトリにログファイルを書き込みます。ログ ファイル名は、licenseactivator\_<month>\_<day>\_<year>.log です。エラーが発生した場合は、ログ ファイルで詳細を確認できます。この情報は、IBM Corp. にお問い合わせをする際にも役立ちます。

### ライセンス コードを使った認証コードの使用方法。

licenseactivator は、一般に、製品を購入したときに受け取った 1 つ以上の認証コードとともに使用します。すべてのテキストを 1 行に入力します。

```
licenseactivator authcode1[:authcode2:...:authcodeN] [PROXYHOST=proxy-hostname]
[PROXYPORT=proxy-port-number] [PROXYUSER=proxy-userid] [PROXYPASS=proxy-password]
```

- 認証コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- プロキシ設定は任意ですが、コンピュータがプロキシを設定している場合は設定が必要な場合があります。OS によって、必要なプロキシ設定が異なります。

**Windows:** プロキシ設定が機能するのは、コントロール パネルの [インターネット オプション] にある [ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定] で、特定の プロキシ サーバーのアドレスおよびポートが指定されている場合に限りです。コマンド ラインにプロキシ ホストおよびポートを入力しないでください。ただし、PROXYUSER および PROXYPASS に値を入力する必要があります。

**その他のオペレーティング システム:** その他のオペレーティング システムの場合、特定の プロキシ設定に応じて、コマンド ラインのすべてのプロキシ設定の入力が必要な場合があります。

### ライセンス コードを使った licenseactivator の使用方法

あまり一般的ではありませんが、IBM Corp. からすでに「ライセンス」を受けている場合もあります。

```
licenseactivator licensecode[:licensecode2:...:licensecodeN]
```

- ライセンス コードが複数ある場合はコロン (:) で区切ります。
- ライセンス コードを使用する場合、licenseactivator はインターネットに接続しないため、プロキシ情報を指定する必要はありません。

## ライセンス ファイル

製品にライセンスを許可すると、製品のインストール ディレクトリに lservrc という名前のファイルが作成されます。このファイルのコピーをエンドユーザーの各コンピュータに対して保持しておくことができます。ライセンス ファイルは、それを作成したコンピュータ上でのみ機能しますが、そのコピーがあると製品のアンインストールまたは再インストールが必要になったときに役立ちます。再インストールの後で、lservrc ファイルを製品のインストール ディレクトリにコピーし直すことができます。これにより、製品のライセンスをあらためて取得する作業が省けます。

## サービスとサポート

Micro Software のライセンス契約書に記載されているように、お客さまのサイトで、サイト ライセンス バージョンの製品ごとに連絡先となる技術担当者を指定します。技術担当者は、組織のユーザーに製品およびオプションについて支援することが期待されます。IBM Corp. は、技術担当者の名前を記録し、IBM Corp. テクニカル サポートを介して技術的な支援を提供します。エンド ユーザーには、ソフトウェアに関する質問は指定した技術担当者に直接問い合わせるように通知してください。

IBM Corp. テクニカル サポートに連絡する場合は、<http://www.ibm.com/support> にアクセスしてケースを送信してください。IBM Corp. テクニカル サポートに登録していない場合は、登録が必要です。

IBM Corp. では、IBM Corp. 製品のトレーニング セミナーを定期的を開催しています。オンサイトでのトレーニング受講も可能です。トレーニング セミナーの詳細については、<http://www.ibm.com/training/spss> にアクセスしてください。